

取扱説明書

モナロウ 中量ラック 300kg・500kg

このたびは、中量ラック 300kg・500kg をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要です、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

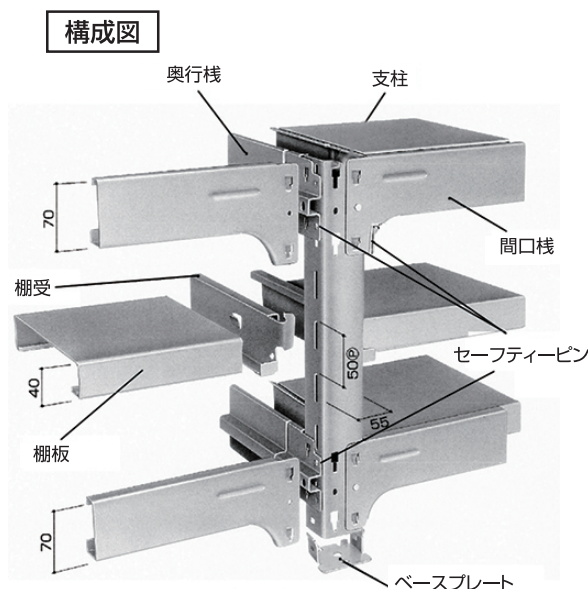
ご使用上の注意 【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告 ●最大荷重を超過して載積しないでください。棚本体が転倒したり、傾いて荷物が落下し、けがをすることがあります。
●安全保安部品(コーナプレート・ボルトナットなど)をはずして使用しないでください。事故によってけがをすることがあります。
●廃棄をするときは、専門業者におまかせください。

注意 ●集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せないでください。棚1段あたりの耐荷重は等分布荷重です。
集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せると棚板がたわみ荷物が落下し、けがをするおそれがあります。
●足を掛けたりよじ登ったりしないでください。転倒してけがをしたり棚が変形するおそれがあります。
●荷物を放り投げて載せないでください。棚板がたわみ、荷物が落下し、けがをするおそれがあります。
●最上段の棚板に荷物を載せないでください。棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをするおそれがあります。
●棚本体に寄りかからないでください。棚の積載物・積載量によって、棚が倒れけがをするおそれがあります。
●本製品の孔に指を入れないでください。孔に指を入れると、けがをするおそれがあります。特に小さなお子様はお気をつけください。
●危険物(薬品・壊れ物など)を収納しないでください。人体や衣服などに傷をつけることがあります。
●ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないでください。(定期的に点検してください)棚本体が壊れてけがをすることがあります。
●上下を確認のうえ、正しく使用してください。棚板を逆向きに使用すると、けがをすることがあります。
●最上段の棚板は支柱の上端に必ず取付けてください。支柱の角でけがをすることがあります。
●異常を発見したまま使用しないでください。棚本体が壊れてけがをすることがあります。
●分解禁止。分解組立は専門業者にお任せください。転倒などの事故のおそれがあります。
●用途以外で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。

耐荷重は棚1段あたり最大300・500kg(等分布平均荷重)です

2 各部の名称



3 セット内容

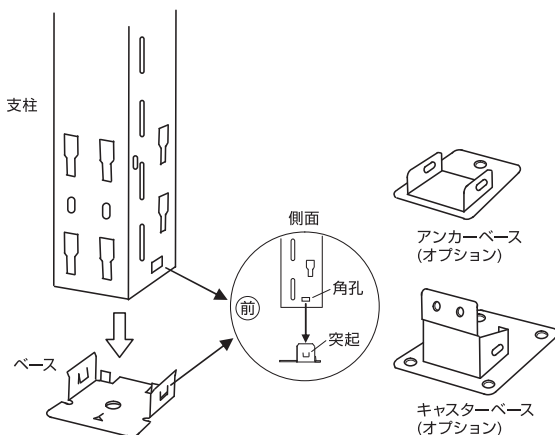
1台セット内容	
支柱セット 単体タイプ 4本 増連タイプ 2本	棚板 奥行480、620タイプ 2枚 奥行700、910タイプ 3枚
間口棧 4本	棚受 3段タイプ 2個 4段タイプ 4個 5段タイプ 6個 6段タイプ 8個
奥行棧 4本 最上段と最下段に 使用します	補強棧 ※500kg用のみ 棚板と同数
	部品 ベースプレート 単体タイプ 4個 増連タイプ 2個
	セーフティーピン 16個

材質 ●支柱・間口棧・奥行棧・棚受・棚板……スチール製(メラミン樹脂焼付塗装)
●ベースプレート・セーフティーピン……スチール製(ユニクロメッキ)

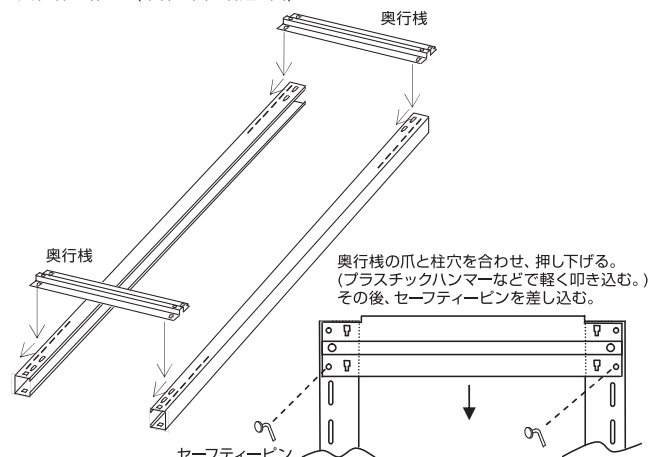
4 組立方法

本書に従って正しく組立てを行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を使用してください。組立は必ず広い場所で行ってください。また、完成後は注意事項をお守りいただき正しくご使用ください。

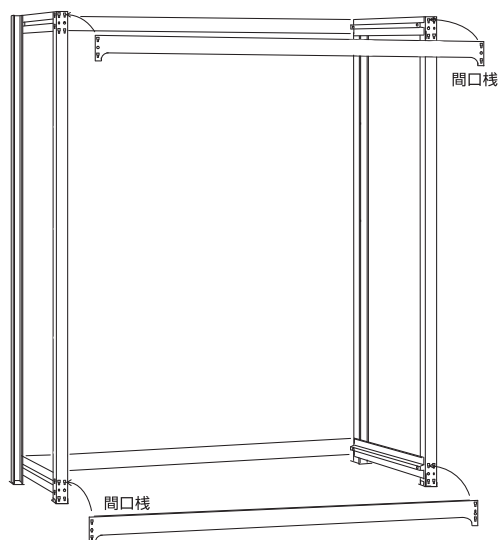
- 1** 支柱下部にベースをはめ込む。
ベースの突起部が支柱下部の角孔に納まるよう押し込んでください。



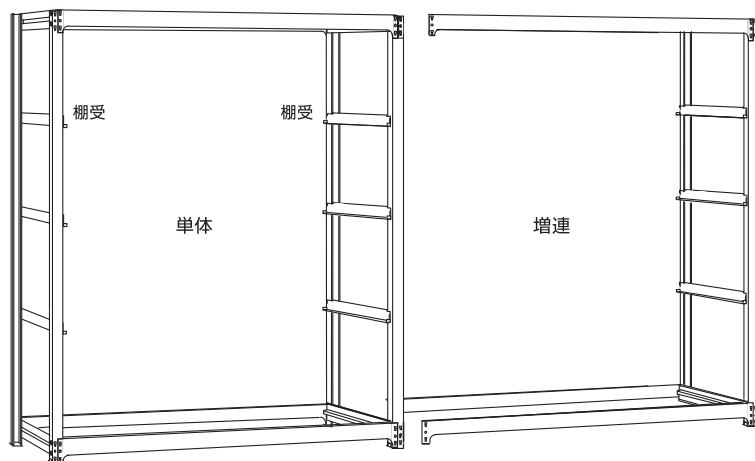
- 2** 支柱を内向きに合い合せに床に並べ、柱上下に奥行枠をはめ込み、支柱枠を作る。(単体2面、増連1面)



- 3** 支柱枠2面を奥行枠側が向い合せになるようにして、支柱上下部前後に間口枠をはめ込む。
(プラスチックハンマーなどで軽く叩き込む。) 間口枠の支柱部分にセーフティーピンを差し込む。
※この時ピンが入りにくいようであれば支柱に間口枠が正しく差し込まれていないので、確実に差し込んでください。



- 4** 棚受を支柱のスリット穴に任意高さ位置へ左右同じ段高さになるよう取付ける。



- 5** ※床面が不安定な場所に設置しないでください。
棚板を上下(天地)段は奥行枠に中間部は棚受に載せます。
(奥行方向に480D、620Dは2枚、700D、910Dは3枚並べます)

500kg時は棚板を載せる前に補強枠を棚板のほぼ中央あたりに補強枠が動かないように棚板を載せてください。

